

公益信託うつくしま基金 第6回後期助成活動実績報告書(ホームページ公表用)

平成21年 4月 / 日

1 実績報告者

| | |
|----------------|---|
| 助成受給者 (団体)名 | (フリガナ) トクエイエイリカウトウホウジン ツチユオンセンカンコウマチツクリキョウギカ 特定非営利活動法人 土湯温泉観光まちづくり協議会 |
|----------------|---|

2 活動名称

| |
|--|
| 過疎地区の遊休農地を復活させながら地域間のコミ |
| ニ ュ ケー シ ョ ン を 図 る 「 土 湯 里 山 夢 づ く り プ ラ ン 」 |

3 助成コース・助成額・活動期間

| 助成コース名 | スタートアップ支援コース(10万円以下) | 助成額 | 事業費総額 |
|--|---|------|-------|
| ※助成を受けたコースに○印を付け、助成額・事業費総額(実績)を記入して下さい | ○ 100年後も…いきいき ふくしま うつくしま(県民運動)実践コース | 30万円 | 173万円 |
| | ※県民運動実践コースの場合は右記のどの重点テーマに該当する活動か、該当するものに○をつけて下さい。 | | |
| | ○ 地域コミュニティの再生 | | |
| | 子育てしやすい環境づくり | | |
| | 環境問題への対応 | | |
| 活動期間 | 平成20年10月1日 ~ 平成21年3月31日 | | |

4 実施した活動の実績・成果

| |
|---|
| <p>(1) 実施した活動の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初計画の3ヘクタールの遊休農地をほぼ農地として復活することができました。 ・60アールの農地に試験的に菜の花の種をまくことができました。 ・ボランティアスタッフの募集を掲載しました。 ・農地を元の肥沃な農地に戻すため、JAの営農指導員の協力により肥料を散布しました。 ・降雪後は、講師 渡辺千春技術士を招いて、地域住民のみなさんやボランティアスタッフとこの復興農地をどのように活用し、この地域の活性化につなげるか協議しました。 |
| <p>(2) 活動の成果</p> <p>①遊休農地3ヘクタール(離農農家所有からの借上げ地)の農地復活活動 のべ人員約100人(熟練人夫、地域住民、ボランティアスタッフ、福島クボタ職員)の活動により、ほぼ遊休農地の耕起は完了し農地として復活することができ、60アールの農地に試験的に菜の花の種をまくこともできました。また、農地所有者、地域住民からは荒れ果てた農地が再整備されたことにより、自然発火による野火防止や景観が整備されたことに、再度「やる気」といったモチベーションが高まってきました。21年の春が待ち遠しいとの期待感も出てきました。</p> <p>②ボランティアスタッフの募集 本事業の活動告知も含めて、ボランティアスタッフ募集をしました。 福島市内在住者7名の参加がありましたが、今後も活動を通じながら口コミでボランティアの輪を広げてゆきたいと思います。</p> <p>③農地活用方法講習懇談会開催(3回) のべ約30名参加(地域住民、NPO職員、行政、小学校、ボランティアスタッフ等) 「土湯でしか見られない、体験できない」ものを作っていくという方向性がまとまりました。</p> <p>④助成活動終了後は、地元で植生する山野草も含めた観光農園づくりと既存の遊歩道と一体化したエコ体験ツアーを推進し、交流人口の増加と地域活性化をすすめます。</p> |
| <p>(3) 今後の課題</p> <p>農地として活用できる下地と見通しはついたものの、地域住民の高齢化は進むばかりなので、この農地を維持していくための人員体制が大きな課題です。ボランティアスタッフを募ることは当然のことながら、若者がこの地域に興味を示すような仕掛けづくり(イベント、ツアー等)を展開し、若者の参画を働きかけてゆきたいと考えます。また、この地域は野生動物(猿、カモシカ、熊等)も生息していることから、動物との共生も大きな課題となります。したがって、動物が食べない既存にある山野草や山菜の栽培を主とした里山農園づくりを進めていきます。あわせて、この地域は国立公園内であることから、外来種の種子を持ち込むことは環境破壊につながるため、この点も注意して事業をすすめます。</p> |

【 活動実績（写真） 】

| | |
|----------------------|-------------------------|
| 助成受給者 (団体・グループ) 名 | NPO法人 土湯温泉観光まちづくり協議会 |
|----------------------|-------------------------|

